

歴史資料展示室の展示の充実について(概要)

1. 方針・方向性

- ・「芦屋市立美術博物館運営基本方針」の使命と方針
- ・芦屋の地域史とまちの成り立ちが理解できる展示内容
- ・美術作品と歴史資料を連携させた展示内容
- ・市民が親しみをもてる身近な展示の内容と方法
- ・メインターゲットは、小学校の校外学習（小学3年生の地域学習と小学6年生の日本の歴史学習）
- ・「ドキドキ」感、「ワクワク」感を生む展示内容・方法
- ・均質的な展示ではなく、展示品の見学ポイントがわかる展示方法
- ・見学しただけで展示品が理解できる展示方法（例えば、考古資料であれば、展示している趣旨や見るべきポイントを資料の側に説明を添える。文献史料であれば、崩し字を楷書にしたもの、書いてある内容の説明を添える等）
- ・展示内容を補う動画コンテンツ
- ・子どもが理解でき、楽しめる展示の工夫（読み仮名を振る。子ども向けワークシートの作成等）。

2. 展示の構成

- ・主題は、「住宅都市・あしやのあゆみ」
- ・展示テーマは、「芦屋市ってどんなまち？ープロローグー」、「あしやを育んだ自然」、「住宅都市・あしやの幕開け」、「輝ける古代のあしや」
- ・企画・速報展示のコーナーを設置